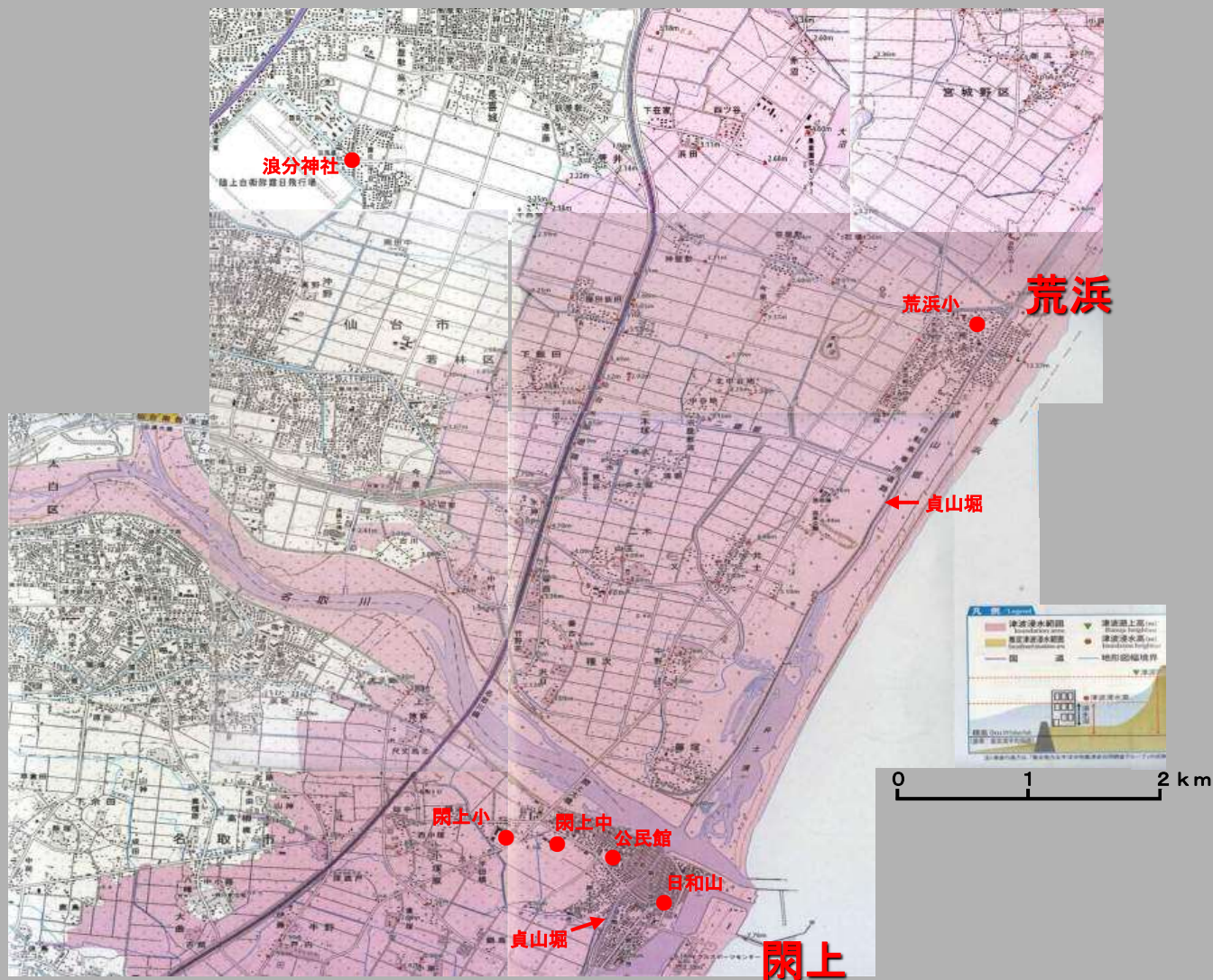


仙台平野を襲った3.11の大津波 —仙台市荒浜地区と名取市関上地区に注目して—



仙台市による津波災害からの復興計画案

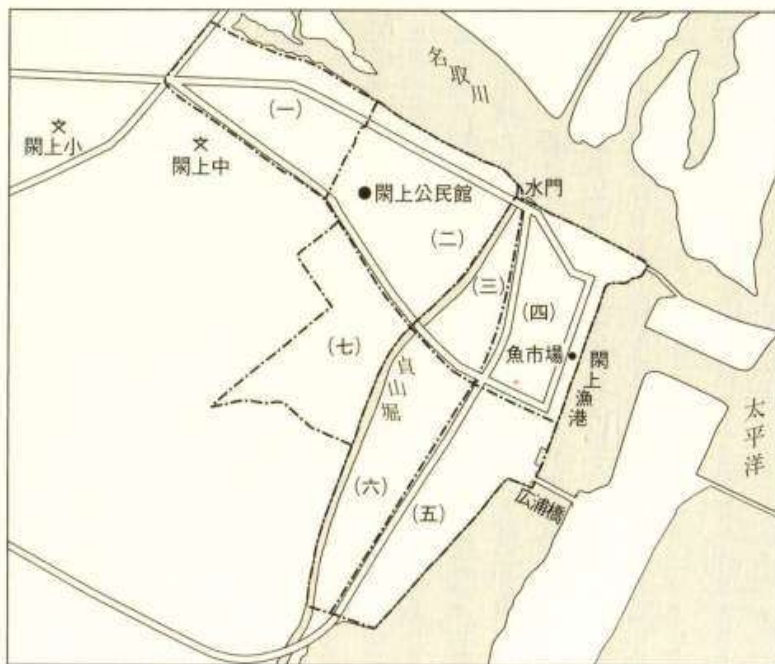


自分たちの居住地域が行政によって一方的に災害危険区域に指定されることに対して不満や戸惑いを感じている住民が多い。

関上地区の被害統計資料

	世帯数	人口	犠牲者数	犠牲者の割合
関上一丁目	230	655	49	7.48%
関上二丁目	303	873	211	24.17%
関上三丁目	119	342	45	13.16%
関上四丁目	272	762	89	11.68%
関上五丁目	171	531	64	12.05%
関上六丁目	426	1072	142	13.25%
関上七丁目	305	843	89	10.56%
合計	1,826	5,078	689	13.57%

(世帯数、人口は平成23年2月末、犠牲者数は平成25年3月7日現在)



関上1～7丁目の地図

関上二丁目に犠牲者が特に多く発生(4人に1人)したのは何故？

根拠のない言い伝えの存在

- ・津波の前に貞山堀が干上がる。
- ・津波は貞山堀を越えない。

市の防災無線が機能しなかった。

- ・カーラジオを聴いていた人はごく僅か。

近所の人々と立ち話

- ・根拠のない安心感

地震で壊れた家財道具やガラスの後片付け

日和山の津波記念碑については

殆どの人が覚えていなかった。

図表は、NHKスペシャル取材班:巨大津波 その時ひとはどう動いたか(岩波書店, 2013.3.28)より引用している。

関上地区の復興計画案

③未来の住民も「住み続けたい」まち

新たな居住地の配置(案)

被災前の居住位置を踏まえた配置(案)としています。



名取市震災復興部復興まちづくり課資料(平成25年3月)より

荒浜地区と関上地区との対比

荒浜地区の状況

人口：2,709人（983世帯）〔平成22年5月の統計資料より〕

死者：190人〔東日本大震災慰霊碑より〕

荒浜小学校へ避難して助かった人々

320人（住人233人，児童71人，職員16人）

そのほかの人たちはどのような状況にあったのか？ どれくらいの人たちが津波に遭遇し，どこに避難したのか？

$2,700 - 320 - 190 = 2,190$?

関上地区の状況

人口：5,078人（1,826世帯）〔平成23年2月末の統計資料より〕

死者：689人〔平成25年3月7日現在の資料より〕

避難して助かった人の数？（公民館，関上中学校，関上小学校）

そのほかの人たちはどのような状況にあったのか？ どれくらいの人たちが津波に遭遇し，どこに避難したのか？

$5,078 - 689 - \text{避難して助かった人} = \text{それ以外の人たち}$?

避難行動：

荒浜地区＝事前訓練をしばしば実施しており，一部では組織的避難行動が出来たと考えられる。

荒浜小学校の避難受け入れへの対応は評価される。

関上地区＝津波に対しては概して無警戒・無防備な点が散見される。公民館から中学校への避難場所変更に伴う混乱があった。

復興計画：

荒浜地区＝居住地域は災害危険区域に指定され再建は不可能に。東部道路より西側に分散移転する案が提示され，移転相談窓口が開設されている。

関上地区＝貞山堀より海側は災害危険区域に指定され居住は不可。貞山堀より内陸側に集団移転すべく嵩上げ案が提示されている。

問題点：

両地区とも居住者の持つ様々な心配や希望について行政側では十分に把握できておらず，被災住民は行政に何らかの不満を感じている。復興計画には売却と購入に係る土地価格の不均衡，移転に伴う職・住の分離と従前からの地域コミュニティ崩壊の問題など。